

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	専門授業	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	「スタート！環境学習」				
講師	環境省・環境カウンセラー 北尾 進				
<p>講義内容</p> <p><b>【授業の目的】</b></p> <p>① 「生活環境コース」の学びの全体像を知る。</p> <p>② 「環境」を学ぶ上で必要なことは何かを知る。</p> <p><b>【キーワード】</b></p> <p>「再び学んで 他のために」、「持続可能社会」、「低炭素社会」、「自然との共生」、「循環型社会」、「総合性・相互性」、「地域社会」、「市民参画」</p> <p><b>【授業の内容】</b></p> <p>① 「学生便覧」により「生活環境コース」の学習内容を概説します。</p> <p>② 「持続可能社会」をつくっていくことと「低炭素社会」や「自然との共生社会」、「循環型社会」の形成との関連性を概説します。</p> <p>③ 「環境」を学習していくうえで大切なことを身近なごみ問題を事例にお話しします。</p> <p>④ 「環境問題」が様々な社会問題を反映し相互に関連していることを解説します。</p> <p>⑤ 地域に眼を向けること、市民が地域の環境問題に取り組むことの大切さをお話しします。</p> <p><b>【授業の進め方】</b></p> <p>① 講義＋「グループワーク」で進めます。</p> <p>② 「グループワーク」においては、各自の身近にある環境問題について話し合ってください。</p> <p>③ そして、話し合った結果を「まとめ」で「発表」をしていただきます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>① 何事にもチャレンジ精神を持って取り組んでください。</p> <p>② 「討議」、「まとめ」、「発表」をするときにどのようなことに気を付けるべきかを考えながら行ってください。</p> <p>③ 人の意見に耳を傾けて聞いてください。自分の意見をわかりやすく話す努力をしてください。</p> <p>④ 何事も決めつけしないで柔軟に考えるようにしてください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項 目	自然環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	身近な植物を観察				
講 師	兵庫県植物同好会会長 黒崎史平				
講義内容					
<p>しあわせの村内を探索し、路傍や芝地などに植栽されている樹木・雑草について、植物の名前を知り、花・実・葉の作りを観察します。</p> <p>身近な植物に気づき、さらに、自然の多様性について学ぶきっかけとする。</p> <p>外歩きに適した服装、靴、帽子、筆記用具などを用意すること。</p> <p>なお、雨天の場合は室内において、観察を行います。</p>					
講師よりメッセージ					
<p>日ごろ見過ごしている身近な草木にも興味を持ち、人の営みと植物の生活について考えてみてください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	自然環境	対象学年	1年	場所	しあわせの村花実の森
テーマ	身近な自然を観察				
講師	花実の森プロジェクト代表 菅田 忠志				
<p>講義内容</p> <p>・わたしたちの子どもの頃から比べ、どんどん自然環境が失われていく中、ときには立ち止まって残された自然環境を見つめてみる時間も大切です。幸い、シルバーカレッジの周辺にはまだ自然が残っており、多様な生きものたちが命をつなぎ棲みついでいます。カレッジの北に位置する里山にちょっと足を踏み入れ、身近な自然を観察してみましょう。</p> <p>〈里山整備と放置林〉〈手入れすることで復元してきた野草たち〉〈子どもたちへの自然環境学習の場〉として、整備活動を続けている“花実の森”をご案内します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>森林や里山の自然環境は、私たちや次世代の子どもたちにとっては欠かせないものです。アウトドアはちょっと・・・という人も、身近な新緑の里山に入り観察してみてください。きっと都会の喧騒の中には無い「何か」が見つかるはずです。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要 (シラバス) (生活環境コース)

項目	自然環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	神戸と神戸周辺の虫たちの暮らし				
講師	神戸小動物研究会会長 宮崎 敏弥				
<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100年程前に神戸港に上陸したキベリハムシ。 六甲山を超えるのに50年もかかった。雌だけで子孫を残す。</li> <li>・有馬の名を冠したアリマウマノスズクサを食草とするジャコウアゲハ。 有毒植物を食草に選んだ戦略。</li> <li>・1000km以上の旅をするアサギマダラ。 春、沖縄からの旅の途中に淡路島北端の小さな砂浜に雄が集まる。</li> <li>・意外と身近に住んでいる国蝶オオムラサキ。 鳥原貯水池周辺ではよく見られる。</li> <li>・春の妖精ギフチョウ。 約10カ月間も蛹で過ごす。</li> <li>・姿を消したゲンゴロウとタガメ 環境の変化により生活の場を奪われた水生昆虫の王者たち。</li> </ul> <p>生き虫 (時期的に幼虫が主) ・食草、標本・写真などを用いて。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>身近な小動物たちに目を向けてもらえるきっかけになれば幸いです。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	環境総論	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	トラと自然とネコの関係				
講師	NPO 法人こども環境活動支援協会監事 戸田耿介				
<p>講義内容</p> <p>今、最も人気のあるペットは何でしょうか。テレビやスマホの動画では、犬・猫が大人気。古代から人間と猫はどのような関係を結んできたのでしょうか。さらに目を野生動物の世界に広げると、ネコの仲間（ネコ科）のさまざまな課題が見えてきます。地球上で最強の動物といわれるトラは野生では絶滅の危機が近づいており、その保護に国際的な協力が始まっています。イエネコからトラまで、世界中で32種いるネコ科の動物の特徴と人間との関係を探っていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネコブームとネコノミクス</li> <li>2. ネコってどんな動物？</li> <li>3. ネコ科動物のやってきた道</li> <li>4. トラはどんなネコ？・・・自然界でのトラの役割</li> <li>5. 保全生物学の視点からネコ科を見る</li> </ol>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>あなたはイヌ派？ネコ派？ どちらの方が自然への影響が大きいのでしょうか。</p>					

シルバーカレッジ講義概要（シラバス）（生活環境）

項目	生活環境	対象学年	1 年	場所	学習室 3・4
テーマ	環境総論「今、環境問題はどうなっているのだろうか？」				
講師	関西学院大学総合政策学部名誉教授 久野武				
<p>講義内容</p> <p>どんな文明も環境問題にぶつかってきました。          多様な環境はさまざまな文明を育んできました。          文明はその環境を変容させてきました。          変容した環境がその文明を衰微させてしまいました。</p> <p>本講は戦後日本、特に高度経済成長以降に焦点を当て、どういう環境問題が生起していき、今、どういう環境問題に直面しているかを、受講生一人一人の体験に照らし合わせて考えてみようというものです。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>みなさんが子供のころからの体験と重ねて、一緒に振り返り、考えてみましょう。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	専門授業	対象学年	1 年	場所	学習室 3・4
テーマ	「環境問題の歴史を知ろう！」				
講師	環境省・環境カウンセラー 北尾 進				
<p>講義内容</p> <p><b>【授業の目的】</b></p> <p>① 過去にどのような公害・環境問題が発生してきたかを知る。</p> <p>② 公害・環境問題の深みを認識する。</p> <p>③ 公害・環境問題の被害に眼を向けることの大切さを理解する。</p> <p><b>【キーワード】</b></p> <p>「足尾銅山鉱毒事件」「四日市公害」「水俣病」「豊島事件」「ごみ戦争」  「ダイオキシン」「アスベスト」「自動車公害」「京都議定書」  「COP3」「パリ協定」</p> <p><b>【授業の内容】</b></p> <p>① 江戸時代から現在までの主な公害・環境問題の歴史を振り返ります。  特に四日市公害と水俣病、豊島事件を重点にお話しします。</p> <p>② 様々な公害・環境問題が発生した要因・背景は何かを考える。</p> <p>③ 公害・環境問題の被害はどのように表れているかを考える。</p> <p>④ 今後、同様の公害・環境問題は発生しないようにするには何が必要かを考える。</p> <p><b>【授業の進め方】</b></p> <p>① 江戸時代から現在までの主な公害・環境問題をお話しします。</p> <p>② 講義の中で、いくつかの質問を受講生に出し、近くの座席の人たちで話し合い答を見つけていくことをしていただきます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>① 受講生の皆さん自身の歴史も振り返りながら、その時々の環境問題を思い起こし、その頃の暮らしや社会の様子を思い出してください。</p> <p>② 何事も時の経過が教えてくれることがあるものですね。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (生活環境コース)

項目	総合学習	対象学年	1年生	場所	学習室3・4、調理実習室
テーマ	「エコクッキング」初級編				
講師	日本野菜ソムリエ協会認定野菜ソムリエ上級プロ 川上マユミ				
<p>講義内容</p> <p>座学では</p> <p>「エコクッキング」とは何かを学びます。</p> <p>「環境問題」と「食」の深い繋がりを理解し、食事作りでゴミの削減に挑戦します。</p> <p>グループでテーマに添った献立作りをし、買い物、料理の手順、片付けなどそれぞれの分野で工夫を凝らし、どのようにすればゴミを減らす事が出来るかを話し合います。</p> <p>実習では</p> <p>グループで作ったメニューを調理実習し試食をします。</p> <p>グループごとにゴミの計量をし、グループで話し合った取り組みが実際にできたかどうかを振り返ります。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>生活環境グループでも調理実習があります。苦手な人もいるでしょうがグループで作る楽しさ、自身がかかわった料理の美味しさを体験出来る良い機会となる授業です。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項 目	健康住宅論	対象学年	1 年	場所	学習室 3・4
テーマ	健康な暮らしと健康なすまい				
講 師	近畿大学建築学部教授 岩前 篤				
<p>講義内容</p> <p>多くの人に共通の願い、「健康で長生き」の実現に、暮らしと住まいが深く関係していることが分かってきています。</p> <p>犬と住むことの効能、</p> <p>「快適」と「健康」の違い、</p> <p>住まいの中のどこにカビは生えているのか、その原因は何か？</p> <p>家庭内の事故はどこで起こっているのか？どんな時に多いのか？</p> <p>冬と夏ではどちらが危ないのか？</p> <p>2万人調査のあらましと結果</p> <p>血圧を下げるには何に気をつければよいのか？</p> <p>健康的な暮らしのためのヒントを中心に、欧米やアジア各地の暮らしとの比較も交え、住まいのあり様を考えていきます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>暮らし、すなわち私たちの日頃の行動が健康に与える影響は非常に大きく、また、行動は住まいによって大きく変わります。住まいと健康の深い関係を楽しみつつ学んでください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	暮らし環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	衣服のリサイクルの現状と課題				
講師	京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫				
<p>講義内容</p> <p>持続可能な社会づくりが世界的に重要な課題となっています。中でもごみを出さない循環型社会をどのように形成するかが大きな問題です。わが国では容器包装、家電、建築・建設材、食品、自動車の廃棄物に対してはリサイクルが法的に義務付けられていますが、我々にとって大変身近な衣服に関しては未だリサイクル法が存在しません。本講義では衣服に焦点を当てて、その廃棄の実態、リサイクル法ができない理由、各企業、公的機関、大学などの衣服リサイクルの取り組みなどを紹介するとともに皆様とともに最適な衣服リサイクルシステムについて考えたいと思います。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>・人間の幸せとは、便利イコール幸せなのか？ 科学技術の発展は生活を豊かにするのか？ ものの価値を今一度考えてみてください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	生活環境	対象学年	1 年	場所	学習室3・4
テーマ	自然環境「ナラ枯れ・松枯れ」				
講師	京都府森林技術センター主任研究員 小林正秀				
<p>講義内容</p> <p>46億年の地球の歴史の中で、生物は何度も絶滅の危機に瀕してきた。巨大隕石の衝突やスーパープルームのような巨大噴火、全球凍結などで、その時の生物の多くが死に絶えた。しかし、生き残った生物は進化し、我々、人類が誕生した。ところが、今、この人類によって進行している大絶滅は、過去の災害よりもインパクトが大きい。燃料革命以降の二酸化炭素放出による地球温暖化、海洋汚染、世界中に拡散を始めた核兵器、原子力発電所。このままでは、人類だけでなく、全生命が絶滅することになる。</p> <p>日本では、少子高齢化の中で、農山村から都会に人が集中し、土や火を触ることもなく、日々の生活を送っている人が多い。現代人は、富を求めて道徳心を失い、企業人も官僚も、科学者ですら捏造・改竄を簡単に行ってしまう時代になった。</p> <p>本講義では、ナラ枯れ・松枯れ、獣害や花粉症などを題材に、原因を突き止め、解決する手法を学びます。そして、現代社会で起こっている不条理、とくに、自然破壊について正しく考察する力を身につけていただきます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>今は、常識が非常識、非常識が常識なっています。とくに、日本人は、「自然環境に関する重要な情報を全く知らない」と言ってよい状況です。講義の前に「ゼロエミッション」や「カーボンニュートラル」のような世界の常識に触れておいて下さい。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	生活環境	対象学年	1 年	場所	学習室 3・4
テーマ	地域環境「もっと神戸：神戸洋食はじめ物語」				
講師	神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科教授 梶原 苗美				
<p>講義内容</p> <p>神戸は 1868 年 1 月 1 日の開港以来 2017 年で開港 150 年を迎えました。海山の幸に恵まれていた上に、明治開港以来外国人居留地にやってきた欧米人や、居留地の造成が間に合わず雑居地（周辺の民家の中）にすんだ人もいたし、又条約が結ばれてなくて外国人居留地に住めず居留地の西側に南京町を作った清国人、さらに、対象期には革命を逃れてきたロシア人など、様々な人々によってもたらされた各国料理をすべて受け入れた形で独自の食文化をを育ててきたと言えるでしょう。</p> <p>このような背景の中で、神戸グルメと称される神戸独自のハイカラ食文化、いわゆる神戸の洋食のルーツはどのようなものであったのかを明治期に発刊された洋食料理本などを参考に皆さんと一緒に考えてみましょう。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>明治期の開国に伴う料理の開国、肉食の解禁など当時の時代背景をたどりつつ、明治期の神戸外国人居留地に住んだイギリス領事館の領事代理夫人が書いた珍しい西洋料理本があるのでこれを紹介してゆこうと思っています。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要 (シラバス)

項目	水道	対象学年	1 年	場 所	学習室 3・4
テーマ	暮らし環境「神戸水ものがたり」				
講 師	神戸市水道局経営企画部計画調整課 担当課長				
<p>講義内容</p> <p>かつて、「世界の船乗りから赤道を越えても腐らないおいしい水」と称賛された布引の水は現在も健在ですが、水源の「水量」は少なく都市の発展とともに水不足が深刻で、さらに水源の琵琶湖のかび臭改善の取り組み、平成 7 年の震災による断水と、神戸水道はまさに苦難の歴史であった。1900 年 (明治 33 年) に日本で 7 番目に近代水道を創設、給水区域の拡大に努め、昭和 60 年市民皆水道を達成、阪神淡路大震災では水道施設も壊滅的な被害を受け、長期の断水を余儀なくされことから、耐震化の取り組みを説明する。また、水道、ミネラルウォーターの水質の中身、水の有効な活用を考えていただく内容としたい。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「蛇口の向こう」を考える                      水道の役割について</li> <li>・神戸の水道創設・拡張の歴史                      神戸港開港と近代水道創設 (1900 年) までの道のり 都市の発展と水道拡張・普及の歴史</li> <li>・阪神淡路大震災と水道                              水道被害と耐震化施策、施設の整備</li> <li>・水道水とミネラルウォーター                      おいしい水</li> <li>・水道の有効活用について                              地球環境への貢献、お風呂の効用</li> <li>・水道をみらいにつなぐ                                水道の課題と神戸水道ビジョン 2025 について</li> </ul>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>普段、何気なく使っている水道、「蛇口の向こう」にある水道の歴史、役割、仕組み、品質、水道インフラの未来について、講師と一緒に考えてみませんか。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	暮らしと環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	これからどうなる食と農と環境～過去の反省と未来の責任～				
講師	兵庫大学経済情報学部教授 池本 廣希				
<p>講義内容</p> <p>わが国の極度に低い食料自給率。その裏付けとして食料輸入大国。そして今、世界的規模での人口爆発の進行。これらの食を取り巻く状況を凝視して、気にならない人は多くはないだろう。超少子・超高齢化の最中にある私たちは、先ず、食の量的確保（食の安心）と食の質的確保（食の安全）の現状と問題をどう考えるか？次いで、戦後を生き抜いてきた私たち世代が、食と農に関して「過去の反省と未来の責任」をどう考えるか？</p> <p>以上の問いかけを踏まえ、「食と農」をつなげることの意味を深掘りしながら、「地産地消」のねらいを理解し、私たちの暮らしと環境、そして健康につながる講義としたい。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>暮らしと環境は、私たちの身の回りがテーマです。これまでの自らの食の在り方を振り返りながら、問題を発見し、暮らしと環境、食と農と健康について考えてみましょう。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	地球環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	地球環境「再生可能エネルギーで創る神戸のエネルギー自治」				
講師	横山孝雄				
<p>講義内容</p> <p>神戸の皆さんはいつまで電気やガスを買いますか。かつての神戸は電気を自給していましたね。神戸ほど自然なエネルギーに恵まれている都市が他にあるでしょうか。頭の上の太陽や顔の頬をなでる風は、誰のものですか。燃料費ゼロ、配送費少々、営業利益は神戸のもの・自分たちのものだとすると、神戸産の1kWhの電気代いくらになるでしょうか。7円、5円、3円？ 得られた利益を神戸内循環させて色々なところで使っていくと、神戸の街はどう変わっていくでしょうか、一緒に考えましょう。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>あまりにも染みついた感覚、取り除けるでしょうか。これまた目からウロコの連続です。立ち上がる勇気が湧いてきます。3年時のグループ学習のテーマ発見に有効です。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	地球環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	地球環境「進行する地球温暖化、神戸は？」				
講師	関西学院大学総合政策学部講師 横山孝雄				
<p>講義内容</p> <p>私たちはどれだけ地球温暖化の問題性を分かっているのでしょうか。一通りのことはご存知。でも、何が真の原因で、今後益々世界や日本の各地でどのようなことが起こるのか、またそれを防止していくにはどのようなことが有効なのか、またそれらすべては神戸や私たちのあり方にどう関わってくるのか…などを考えようとする、はてなマーク？ばかりが出てきますね。部分ではなく全体を理解して、神戸のまちづくりや私たちの暮らしをどのように変えていく必要があるのか、当事者責任を負っている私たちの世代こそしっかりと考えたいものです。地球温暖化・気候変動の問題は、極めて複雑な問題で多様な側面をもって存在しています。そのいくらかに触れることで、この問題の核心に迫り、人間社会の有り様をご一緒に問い直しましょう。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>難しそうに見えますが、目からウロコの連続です。心に響いた何かを3年時のグループ学習のテーマとしてください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	生活環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	今日からあなたも エシカル&グリーンコンシューマー				
講師	NPO 法人環境市民副代表理事 下村委津子				
<p>講義内容</p> <p>何を大切に買うものを選ぶか。          買い物を変えることで、私たちの暮らしのあり方を変え、環境、経済、社会を持続可能なものに変えていくことができます。          自分だけでなく、世界中の人々が、未来世代が幸せに暮らせる社会を買い物という行動から実現していきましょう。</p> <p>講義では、吉本芸能のお笑い芸人さんやピコ太郎も広報している、国連の2030アジェンダSDGs（持続可能な開発目標）の12番目の目標である「持続可能な消費と生産」について世界の関係と自分自身の暮らしがどのようにツナ買っているのか解決するためにできることは何なのかを考えます。          また、座学だけでなくワークショップ「買い物ゲーム」で、体験とディスカッションも行います。</p> <p>午前と午後の連続2講義で実施します。          午前：買い物で世界を幸せにするエシカル&amp;グリーンコンシューマーについて学びます。          午後：ワークショップ「買い物ゲーム」 実際に商品を使ってエシカル&amp;グリーンコンシューマーの買い物を体験します。また、グループによるディスカッションを通して持続可能な消費についての考えを深めます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>エシカル&amp;グリーンコンシューマーの買い物は、誰でもいつからでもできる行動です。買い物は投票です。その基本となる考え方を学んでください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	生活環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	自然共生社会の実現に向けて ～生物多様性の保全に関する取り組み～※				
講師	神戸市環境局環境保全部自然環境共生課 岸本祥				
<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸は、人口 150 万人を超える大都市である一方、六甲山や瀬戸内海をはじめとする豊かな自然環境に恵まれており、7,600 種を超える野生動植物が生息・生育しています。</li> </ul> <p>この豊かな自然環境を守り、自然から生み出される恵みを将来の世代に引き継ぐために、神戸市が推進している取り組みをはじめ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生物多様性とは何か</li> <li>○ 生物多様性を守ることの意義</li> <li>○ 外来種の対策の必要性</li> <li>○ 様々な主体による生物多様性の保全に関する活動</li> <li>○ 最新の生物多様性の保全等に関する情勢</li> </ul> <p>等に生物多様性に関する様々な情報を紹介します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>この講義をきっかけに、身近な自然環境に目を向けていただき、「なぜ生物多様性を守らなければならないのか」「自分たちに何かできることはないのか」ということを、考えてみませんか。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要 (シラバス) (生活環境コース)

項目	自然環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	暮らしに関係あるの？生物多様性って				
講師	NPO 法人こども環境活動支援協会監事 戸田耿介				
<p>講義内容</p> <p>南北に連なる日本列島は複雑な地形と寒暖の海流のおかげで四季折々に海山の幸に恵まれてきました。そして多彩な食材を使った和食や郷土料理が国際的にも高く評価されつつあります。ところがいま食品スーパーでは、世界各地から集まった野菜や魚が年中同じように並んでいます。旬を大切にする和食の味はどうなってしまうのでしょうか。近年ウナギ、マグロを始めサンマまでも高値になってきました。身近な食卓を通して生物多様性の価値とその保全について考えてみます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. どんなものを食べていますか？</li> <li>2. 旨いものは何処にある。</li> <li>3. 生態系サービスと生物多様性の劣化。</li> <li>4. 私たちの食卓が豊かであり続けるには。</li> <li>5. 日本の食文化を伝えよう。</li> </ol>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>いつまでも、うまいもんを食べたいですね。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	地球環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	地球環境「神戸で進めよう低炭素な社会づくり」				
講師	横山孝雄				
<p>講義内容</p> <p>地球温暖化・気候変動の原因は、各種の温室効果ガスの過剰な排出にあります。しかしその背景的原因を探れば、過剰なる化石エネルギー消費と熱帯雨林等の強度の森林伐採が浮上します。ともに現代文明そのものに帰着し、私たちのあり方と深く深く関わっています。社会や暮らしの良い面を残しながら、経済や暮らしの中のCO<sub>2</sub>など温室効果ガスを削減した低炭素な次なる文明社会をどう築いていくか、神戸や私たちの暮らしを事例に考えてみましょう。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>私たちの幼き頃を思い出してください。昭和35年までは“低炭素社会”だったのです。難しくありません、私たちの体験を生かしたらいいのです。授業を通して3年時のグループ学習のテーマを見つけてください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	地域環境	対象学年	1 年	場所	学習室3・4
テーマ	市民がまちづくりにかかわるということ				
講師	市民まちづくり研究所所長、大学講師 松本 誠				
<p>講義内容</p> <p>超高齢社会を迎えて、高齢者が長い人生を心豊かに生きていくためには、地域社会で有用な人間として貢献していくことが大事です。</p> <p>市民が参加・参画し、協働してまちづくりに取り組むことが、いま、あらゆる観点から求められています。</p> <p>住民が主体になったまちづくりを進めていくために、どのようなことが求められるのか？ そのための課題は何か？ 住民主体のまちづくりが生まれた経緯を振り返りながら、市民がまちづくりに関わるためのヒントや実際の取り組み方などを、一緒に学びましょう。</p> <p>私たちはいま、どのような社会に生き、これからどのような方向に進むのかについても、ジャーナリスト的な観点から、解きほぐします。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>新聞記者・ジャーナリストとして生きてきた講師はいま、まちづくり活動の実践者として市民活動の一線を担い、まちづくりコーディネーターとして活動しています。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	地球環境	対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	蝶の魅力とミステリー				
講師	須磨離宮蝶の会代表 谷本 祥二				
<p>講義内容</p> <p>身のまわりにある自然、その中でも美しい蝶を題材に取り上げ、バタフライガーデン（幼虫の食草、成虫の吸蜜植物を植えることで、近隣に生息する蝶を呼び寄せるためにつくられた庭）での蝶の楽しみ方を知っていただきたいと思います。大がかりなバタフライガーデンとしては、神戸市立須磨離宮公園の中にほぼ完成しています。また、蝶のもつさまざまなミステリー（卵から成虫へと姿を変える完全変態、鱗粉の不思議、擬態など）を知ることで、蝶だけでなく、自然の中のいろいろなことに興味を持っていただき、自然を楽しみ、大切にすることを養っていただきたいと思います。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>バタフライガーデンといっても身構えることとはありません。庭の一部に、近隣に生息する蝶の食草、吸蜜植物を植えてやることで、庭に集まり、世代交代してくれます。</p> <p>観察、写真等で楽しんでください。</p>					